

日中対照研究方法論（１）

— “給・N＋V” 表現と「N・格助詞」を用いた日本語動詞表現(下)—

A Methodology for a Contrastive Study in Japanese and Chinese(1)
: “*gei*・N＋V” Forms in Chinese and Their Corresponding Expressions
in Japanese using an “N・Phrase Particle” (Part 2)

成戸 浩嗣 Koji NARUTO

概 要

「日中対照研究方法論（１）－ “給・N＋V” 表現と「N・格助詞」を用いた日本語動詞表現(上)－」を参照。

キーワード

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 1. 受益 | benefit |
| 2. 視点 | viewpoint |
| 3. 表現構造 | expression structure |
| 4. 待遇表現 | hearer-oriented language use |
| 5. 連体修飾成分 | adnominal constituent |

目 次

- 1 “給・N＋V” — 「N・ニ Vする」の対応
- 2 “給・N＋V” — 「N・ヲ Vする」の対応
 - 2.1 “給・N＋V” と “把・N＋V”
 - 2.2 “給・N＋V” 表現と話者の視点
- 3 “給・N＋V” — 「N・デ Vする」の対応
 - 3.1 “給・N＋V” 表現の多義性と受身・使役
 - 3.2 “給・N” と 「N・デ」
- 4 “給・N (間接的受け手)＋V” — 「N(動作主体)・カラ／ニ Vテモラウ」の対応
 - 4.1 受け手中心の表現形式
 - 4.2 “給” と 「テモラウ」
 - 4.3 “从・N＋V” と “給・N＋V”、 「N・カラ／ニ Vテモラウ」
- 5 “給・N＋V＋O” — 「N・ノ Oを Vする」の対応
 - 5.1 “給・N” と 「N・ノ」
 - 5.2 “給・N” と 「N・ノ」、 「N・ニ」
 - 5.3 “給・N＋V＋O” 表現の多義性と考察の展開
- 6 おわりに

4.2 “給” と 「テモラウ」

“給・N＋V” は、楊凱榮 1994 : 39 が「たとえ、動作主とその動作の向かう対象との間に利益を与える側と与えられる側の関係が生じても、文の論理的意味に関わる客観的な出来事としてとらえられ、日

本語の補助動詞に見られるような恩恵の有無といった談話機能上の働きはない」と述べているように、客観的事実を表わす形式としての性格が強いと考えられる。但し、この形式における“給”に対して、文法的な働きを主としてにないつつ、話者の視点を

前提としてコトガラを表現する働きを備えるに至る過度的形態であるとみる第2章で述べたような考え方をとる余地を残すのであれば、さらに別の角度から観察を試みてもよいであろう。例えば、以下のような依頼表現の対応例である。

- (43) 你**给**检查一下, 看这份材料有没有错儿。
 (43)' ちょっとこの書類、ミスがないかどうかチェックして**テ下サイ**ませんか。
 (《中文版 日本語句型辞典》「てくださる」の項)

(43)は、“給”の後に“我(们)”、“他/她”などの成分を補うことが可能ではあるものの、“給”がNをともなっていないという事実からみれば、動作・行為の間接的受け手を示すこと以外にその主たる働きを求めざるを得ない。そのためには

- (43)” 你检查一下, 看这份材料有没有错儿。

のような“給”を用いない表現との相違を調べて“給”の有無による意味やニュアンスの相違をさぐっていく必要があり、そうすることによって“給”と話者の視点との関係を明らかにする手がかりが得られるかも知れない。

(43)、(43)'とは異なり、以下の対応例は依頼表現ではない。

- (44) 石川：能**给**按摩吗？
 吴：能。理发室也**给**做，也可以打电话预约来自己的房间。
 (《日语口译教程》：267)
 (44)' 石川：マッサージなんかもし**テモラエマス**か。
 吴：はい。理容室がありますので、そこでもやっ**テモラエマス**し、あるいは電話で予約して部屋に来**テモラウ**こともできます。(同：42)

- (45) 你看，那个孩子多么高兴，**给**买了那么大的布玩具。(同：323)
 (45)' あ、あの子、大きなぬいぐるみを買っ**テモラッテ**うれしそう…。(同：225)

(43)～(45)はいずれも日本語の原文を中国語に置

き換えたものであるため、日本語表現の影響を受けている可能性があり、このことは、(44)の“能**给**按摩吗？”よりは“能按摩吗？”の方が、“理发室也**给**做”よりは“理发室也能做”の方がそれぞれ自然であることや、(45)の“**给**买了”は“**给他/她**买了”の意味であって間接的受け手に話者の視点を置いた「買っ**テモラウ**」とは異なるため、“他/她(＝那个孩子)”を表出しないことによって表現構造上の相違をより小さくしようとする力が働いた可能性が否定できないことからみてもとれる。翻訳された表現例をあつかう際には、このような点についての配慮も必要であろう。奥津 1983: 28、同 1984: 28、75、81-82、86 の記述にみられるように、中国語の授受動詞には与え動詞(給与動詞)として“给”という一般的な動詞があるものの、受け動詞(取得動詞)の方には代表的な一つの動詞というものはなく、前者の方が優位に立っている。このため、「**テモラウ**」との対応関係についても、“给”が与え動詞から派生した成分であることを忘れてはならず、上記の対応例においては、日本語の(44)'、(45)'は受け手の側から出来事を表現しているのに対し、中国語の(44)、(45)はそうではないとみるのが自然であろう。“给”が「動詞→前置詞→助詞」のような用法の発展を経てきたとするならば、それらの働きの間には連続性が存在すると考えられるからである。一方、「**テモラウ**」の部分“给”に置き換えていることから、**“给”**を用いることによって「**テモラウ**」のもつ待遇表現としての働きを中国語に反映させたとみることも可能ではなかろうか。

4.3 “从・N+V”と“给・N+V”、「N・カラ／ニ Vテモラウ」

「カラ」に対応する中国語前置詞として代表的なものには“从”があり、「もらう」という授受動作を表わす表現の中には“从”、「カラ」が対応する

- (46) 我们**从**工厂领薪水。(奥津 1984: 84)
 (46)' 我々は**工場カラ**給料を**モラッテイル**。

(同上)

のようなケースのほか、

- (47) 我**从**叔叔那儿要了苹果。(穗积 1987: 313)
 (47)' 私は**おじさんカラ／ニ**りんごを**モライマシタ**。(同上を一部修正)

のように「ニ」も対応しえるケースが存在する。

周知のように、“給”の場合とは異なって“从”には授受動作を表わす動詞としての用法がない。また、上記のような授受動作を表わす表現において動作主体(=与え手)を示す“从”はトコロ(空間)を示す機能語としての性格が強く、後続のNが非トコロ名詞である場合には、(47)の実線部のようにトコロ化(=“那儿”を付加)しなければならない¹⁰⁾。授受動作を表わす表現において“从”が用いられるためにはこのような制約があり、動詞「モラウ」を用いた日本語表現の場合に比べると、授受動作として表現可能なコトガラ(カ)の範囲は極めて限定されていると推察される。このことは、日本語の「モラウ」に対して表現構造の異なる“給”表現を対応させた

(48) 这块表是父亲给我的。

(『岩波 日中辞典』“給”の項)

(48)’ この時計は父カラモラッタ。(同上)

のようなケースがみられることによっても理解できよう。授受表現にみられる“从”のこれらの特徴からは、日本語における「N・カラ／ニ Vテモラウ」のような受益表現の形式として“从・N+V”が用いられる方向には発展しにくいことがみてとれる。この点において、授受動作を表わす動詞から発展した“給”が“給・N+V”形式において動作・行為の相手を示す働きを備えるようになり、有情物を表わす名詞にとどまらず無情物を表わす名詞に付加されることも可能となっているというようにその用途が広がっているのとは対照的である。

前述したように、中国語においては与え動詞が受け動詞よりも優位に立っている。このような傾向は、異なる形ではあるものの日本語や英語においてもみられるようであり、この点についての記述が奥津1983:29、同1984:74-76にみられる¹¹⁾。但し、日本語の「モラウ」が「～テモラウ」のような補助動詞に発展しているのに対し、中国語の受け動詞にはそのようなものがみあたらない。このような相違は、これまで述べてきたような、客観的事実を表現するに際しての話者の視点の置き方¹²⁾や発想の相違、換言すればコトガラのとらえ方の相違と表裏一体をなしており、いわゆる表現構造の相違として観察されることも少なくないと推察される。同様の指摘は奥津・徐1982:103にもみられ、“給・N+V”と「N・カラ／ニ Vテモラウ」の対応についての考察を深

める過程で、その詳細が次第に鮮明となってこよう。

5 “給・N+V+O” — 「N・ノ Oを Vする」の対応

5.1 “給・N”と「N・ノ」

“給・N+V”表現においてVがいわゆる他動詞である場合、対応する日本語表現においてNが「ノ」により、直接的受け手の連体修飾成分として示される以下のようなケースがみられる。

(49) 妈妈给孩子洗手。

(楊凱榮 2009:2、同2013:57)

(49)’ お母さんが子供ノ手を洗う。

(楊凱榮 2009:3)

(50) 我向大书院老师房间走去，副司务正给老师剃头，这是他最拿手的。

(楊凱榮 2009:9、《中日对译语料库》)

(50)’ 大書院の老師の部屋へゆく。そういうことの巧い副司さんが、老師ノ頭を剃っている。(同上)

このような対応例は、『日本語文型辞典(「てあげる」の項)』が「他の人の体の一部や持ち物に対して行為をする場合や他の人に直接働き掛ける場合は『…に V-てあげる』とは言えない」としているように、直接的受け手がN(ヒト=有情物)の身体部分であるケースである。(49)は、楊凱榮2013:57-58の記述にみられるように、モノの授受をとまなわない純粋な受益表現であり¹³⁾、この点は(50)も同様である。

(49)に対応する日本語表現としては(49)’のほか、補助動詞を用いた

(49)’ お母さんが子供ノ手を洗っテアゲル。

(楊凱榮 2013:58)

を対応させることも可能である。(50)に対する

(50)’ 大書院の老師の部屋へゆく。そういうことの巧い副司さんが、老師ノ頭を剃っテサシアゲテイル。

は、「副司さん」と「老師」との地位関係が関わって「サシアゲル」が用いられている。これらのことから、“給・N”、「N・ノ」の対応を考えるに際して日本語補助動詞をどのように関連づけるべきかということも問題となりそうである。場合によって程度の差こそあれ、前置詞“給”が語彙的意味を含むという前提で考察をすすめるのであれば、この点については慎重であるべきであろう。一方、楊凱榮 2009: 4 には、「テアゲル」を用いない場合は単なる事実の叙述であるのに対し、用いた場合は恩恵の授与が明示される旨の記述があり、これをも参考とした詳細な検討が必要である。

(49) にならい、Nを動作・行為の間接的な受け手として表現した

(51) *お母さんが子供ニ手を洗う。

は非文であるのに対し、補助動詞を用いた

(51)' ?お母さんが子供ニ手を洗っテアゲル。

(楊凱榮 2013: 58)

は規範的な表現とは言えないものの¹⁴⁾、少なくとも(51)よりは許容度が高いようである。(51)' のような表現においては、不安定ながらも一定の許容性を有する点に着目することによって、典型的用法からは観察されにくい「ニ」や「テアゲル」の特徴がかって鮮明に浮かび上がってくる可能性がある。(51)、(51)' 間の相違は「テアゲル」の有無のみであるため、後者が前者よりも許容度の点でまさる要因もこの点に求められるはずである。すなわち、利益の方向性を明示する「テアゲル」の働きによって、動作・行為の方向性を明示するにとどまる「ニ」によっては示すことができないはずの「子供」を「洗う」の間接的な受け手として表現する許容度が増したと推察されるのである。ちなみに、(51)' から「手」を除いた

(51)" お母さんが子供ニ洗っテアゲル。

は(51)' に比べてより自然な表現である。これは、(51)" における「洗う」の直接的な受け手が子供の身体部分や所有物ではなく、子供には属さない事物であれば、「子供ニ」が「子供ノタメニ／ニカワツテ」と同様の働きを帯びることとなって自然な表現

として成立する可能性があるため、表現の許容度がより高いことによると考えられる。「ニ」、「テアゲル」をめぐる上記のような方向性の問題は、“給・N+V”表現との対照作業を通してはじめて出てくるものであり、日本語受益表現の考察に対しても新たな視点を提供している。

(49)、(49)' および(50)、(50)' と同様の対応例としては、さらに以下のようなものが挙げられる。

(52) 对不起, 这本书给你弄脏了。¹⁵⁾

(《現代漢語八百詞》“給”の項)

(52)' ごめんなさい、君ノこの本よごしてしまっ
たんだ。

(『中国語文法用例辞典』“給”の項)

(53) 给朋友拿了行李。

(《中文版 日本語句型辞典》「てあげる」
の項)

(53)' 友達ノ荷物を持っテアゲタ。

(『日本語文型辞典』「てあげる」の項)

(52)、(53)の“給・N”を動作・行為の間接的受け手として日本語表現に反映させた

(52)" *ごめんなさい。この本君ニよごしてしま
ったんだ。

は非文であり¹⁶⁾、

(53)" ?友達ニ荷物を持っテアゲタ。

(《中文版 日本語句型辞典》「てあげる」
の項)

は話し言葉では用いられる可能性があるものの、自然な表現ではない。

“給・N+V+O”表現における直接的受け手がNの身体部分、所有物のいずれであるにせよ、Nによって表わされる間接的受け手の側に属するものである点では共通している。言語現象をより正確に記述するためには、身体部分や所有物という具体的かつ狭い概念よりも、それらを包含するより抽象的かつ広い概念によって説明がなされる方が望ましく、辞書においてもつけられた意味項目の枠を越えたあつかいがしばしば必要となる¹⁷⁾。このような観点から

- (54) 那个少年抱起孩子, 给他抹去嘴角的血痕。
(《实用现代汉语语法》:177)
- (54)' その少年は子どもを抱きあげて、口もとに
についている血痕をふきとつテヤッタ。
(『現代中国語文法総覧(上)』:247)

という対応例をみてみよう。(54)の“给他”に対応する成分、すなわち間接的受け手は(54)'には含まれておらず、(54)の実線部は(54)'の「テヤッタ」に反映されているとみることができよう。“他”に対応する成分を明示するのであれば、

- (55) その少年は子どもを抱きあげて、彼ノ口もと
についている血痕をふきとつテヤッタ。

となり、「ニ」によって示した

- (55)' *その少年は子供を抱きあげて、彼ニ口もと
についている血痕をふきとつテヤッタ。

は非文である。「血痕」は「彼」の身体と一体化しているため身体部分に準じると考えてさしつかえなく、「彼」の側に属するものである。このことは、以下の対応例についてもあてはまる。

- (56) 王书记, 你给他解解心上的疙瘩吧!
(《实用现代汉语语法》:177)
- (56)' 王書記、彼ノ心のわだかまりをとつテヤッ
テ下さいよ。
(『現代中国語文法総覧(上)』:247)
- (56)" *王書記、彼ニ心のわだかまりをとつテヤ
ッテ下さいよ。

同様のことは

- (57) 给老大爷治病。
(《现代汉语八百词(1版)》“给”の項)
- (57)' おじいさんノ病気を治す。
(『中国語用例辞典』“给”の項)
- (57)" *おじいさんニ病気を治す。

- (58) 我去给朋友办事。(楊凱榮 2009:3)
- (58)' 私が友達ノ仕事をしに行く。(同上)
- (58)" *私が友達ニ仕事をしに行く。

のような非身体部分、非所有物を直接的受け手とするケースについてもあてはまり、中国語においては“給・N”形式によって表現可能な動作・行為の間接的受け手が、日本語においては「ノ」によって直接的受け手の連体修飾成分として表現されることとなる¹⁸⁾。

5.2 “給・N”と「N・ノ」、「N・ニ」

“給・N+V+O”表現に対しては、以下のように、「N・ノ」、「N・ニ」のいずれを用いた日本語表現も対応可能なケースが存在する。

- (59) 妈妈给孩子做饭。(楊凱榮 2009:3)
- (59)' お母さんが子供ノご飯を作る。(同上)
- (59)" お母さんが子供ニご飯を作つテヤル。
(同上)

- (60) 本来想得好好的, 要给大家照张相, 可却忘
带照相机来了。
(《中文版 日语句型辞典》「てあげる」
の項)
- (60)' せっかくみんなノ写真を撮ろうと思った
のに、カメラを忘れてきてしまった。
(同上を一部修正)
- (60)" せっかくみんなニ写真を撮つテアゲヨウ
と思ったのに、カメラを忘れてきてし
まった。(同上)

「N・ノ」を用いた(59)'、(60)'に対しては、「テヤル／テアゲル」を加えた

- (61) お母さんが子供ノご飯を作つテヤル。
(楊凱榮 2009:3 を一部修正)
- (62) せっかくみんなノ写真を撮つテアゲヨウと
思ったのに、カメラを忘れてきてし
まった。
(《中文版 日语句型辞典》「てあげる」の項)

も成立はするものの、「N・ニ」を用いた(59)"、(60)"の方が「テヤル／テアゲル」の必須度が高いようである。このことは、

- (51) *お母さんが子供ニ手を洗う。
- (51)' ?お母さんが子供ニ手を洗つテアゲル。

のような補助動詞の有無による許容度の差異と表裏一体をなしていると考えられる。こういった点に着目する姿勢は、様々な表現形式が表わす微妙なニュアンスの相違をさぐる上では極めて重要であり、作業の展開次第では不要なものとして切り捨てられる結果となる場合もあるにせよ、常に維持すべきである。(59)、(59)’について言えば、“給・N+V+O”表現に対して「テヤル」を用いない「N・ノ Oを Vする」表現を対応させたことが楊氏の意図するところであるか否かにかかわらず、その要因について考えてみることは無駄ではないであろう。言うまでもなく、(59)における“給”の働きは、(59)”においては「ニ」と「テヤル」に分けて表現されているのであり、

(63) お母さんが子供ニご飯を作る。

に比べると、“給”の働き(=動作・行為の間接的な受け手を示す+利益の授受を表わす)がより忠実に反映されている。ちなみに(63)は、「テヤゲル」を用いた(51)’、(53)”の場合と同様に、日常の話し言葉では許容されるにしても、規範的な日本語表現としてはいかがであらうか。この点については、楊凱栄 2009、《中文版 日语句型辞典》において自然な表現として挙げられている(59)”、(60)”をも含めた詳細な検討が必要であらう。(63)は(59)’、(59)”に比べると許容度の点でやや劣っているように感じられるが、この感覚は極めて微妙であり判断の難しいところである(楊凱栄 2009: 3 は、「お母さんが子供ニ弁当を作った。」のような「製作動詞」によって授与行為を表わすものを自然な表現として挙げている)。“給・N+V+O”表現に対応すべき「N・ニ Oを Vする」表現の成立の可否については楊凱栄 2009: 1-2、8 においても言及されており、

(64) 男的跟女朋友一起出去时应该给她买车票。

(楊凱栄 2009: 1)

(64)’ 男はガールフレンドと一緒に出かけるときは彼女ノ切符を買うべきである。

(同上: 2)

という対応例に対し、

(65) ? 男はガールフレンドと一緒に出かけるときは彼女ニ切符を買うべきである。

(同上: 8)

は不自然であり、

(65)’ 男はガールフレンドと一緒に出かけるときは彼女ニ切符を買ってテヤゲルべきである。

(同上)

のように「テヤゲル」を用いると自然な表現となる旨の記述がみられる。

一方、(59)’における「ノ」は、「ノタメノ」に置き換えることが可能である¹⁹⁾ことから、「N・ニ Vテヤゲル」を用いた場合とは異なる形で利益の授受が含意されており、(59)における“給”の働きがここに反映されているとみることも不可能ではない。さらに別の角度からみれば、「子供ノご飯」は一言相当の成分として「作る」に対して形式上・意味上の一体性を有している²⁰⁾ため、「ご飯」は「子供」の側に属するものとして表現されていることができる。これに対し(59)”においては、「ニ」が「ご飯を作る」という動作の向かう先(間接的受け手)を示しており、「子供」と「ご飯」はあくまで別個の成分としてコトガラを構成する形となっている。

ところで、

(66) 已是秋天了，阵阵秋风送来了寒意。托儿所通知家长们给孩子送棉衣了。

(66)’ もう秋であった。そよ吹く秋風が肌寒い。託児所から子供ノ綿入れの服を届けるようにとの通知が来ていた。

(楊凱栄 2009: 10、《中日対訳語料庫》)

という対応例のうち、(66)’の実線部における「子供」は、(59)’におけるそれに比べると概念の具体性において劣る可能性がある。「子供ノ」は「(自分の)子供ノタメノ」の意味に解することが可能である²¹⁾一方、「子供用ノ」の意味に解することも可能である。このことは、例えば

(67) 子供ノ綿入れの服を被災地の託児所に届けるようにとの通知が来ていた。

という文脈において後者の意味に限定されることをみれば理解しやすい。仮に、(66)’の実線部を「子供用ノ」と解した場合、「子供」は具体的な個別の

子供ではなく子供一般を指し、意味的に抽象化されていることとなる。「ノ」がこのような解釈上の幅を有するためであろうか、(66)に対しては、「子供」を間接的受け手として「ニ」で示した

- (68) すっかり秋だ。吹くそよ風も肌寒い。託児所からは子供ニ綿入れを持参するように通知がきている。
(楊凱栄 2009: 10、《中日対訳語料庫》)

という日本語表現を対応させることも可能である。「ニ」を用いた(68)は、「ノ」を用いた(66)’の場合に比べると、綿入れを受け取るべき「子供」が発話時に特定されている可能性が高い(「持参する」という動詞もこれに関わっていると考えられる)。

“給・N”、「N・ノ」の対応例は様々な資料に散見され、これを主たるテーマとしてとり上げた先行研究としては、楊凱栄 2009、同 2013 などがみられる²²⁾。これらにおいて楊氏は、“給・N”、「N・ニ」を用いた受益表現と“N・的”、「N・ノ」を用いた所有表現について、

- ①客体が相手に譲渡可能なものであるか否か
- ②具体的な事物の移動をとまうか否か
- ③相手がいわゆる受給、受益いずれの受け手であるか
- ④所有関係の確立時点と“給・N”、“N・的”、「N・ノ」の容認度との関わり
- ⑤所有構造における所有者が受益者として解釈できるか否か(受益表現と共起できるか否か、受益者が所有格としてあらわれるか否か)
- ⑥“N・的”、「N・ノ」におけるNが特定の所有者を表わすか総称として用いられるか

などの観点から考察を行なっている。「ノ」の働きについては、同 2009: 8 に、

- (64)’ 男はガールフレンドと一緒に出かけるときは彼女ノ切符を買うべきである。

における「ノ」は、「～ニ Vテアゲル」を用いた(65)’のように、日本語特有の恩恵授与という語用論的な意味が前面に出てくるのを避けてより客観的な叙述をするために用いられる²³⁾旨の記述がみられるが、「ノタメノ」との置き換えが可能な「ノ」

の働きとも合わせ、この点についてもさらに詳細な検討を試みる価値がありそうである。

また、木村 2000: 32 には、

(69) 给他洗头发

における“他”はモノを与えられる対象ではなく“洗头发”という動作がもたらす恩恵もしくは利益にあずかる対象であり、“給”は恩恵や利益の受け手を導く働きをしている旨の記述がみられるが、これに対応する日本語表現として挙げられている

(69)’ 彼ノ髪を洗ッテヤル。

においては、恩恵の授与は「テヤル」の部分が表わしていると解されるのが通例である。このことからみれば、利益の授受を暗示する働きを「ノ」に見いだそうとする考え方の入り込む余地はなさそうであるが、これについては(59)’のようなケースと比較しながら慎重に検討を行なっていく必要がある。

いずれにせよ、“給・N”、「N・ノ」の対応についての先行研究は数少なく、未開拓の領域として考察の余地は大いにあると考えられる。対照作業を通して得た独自の視点から先行研究を見直すと同時に、誤用例の分析をも含めた詳細な検討を行なうことによって、新たな知見を得ることが期待できよう。

5.3 “給・N+V+O”表現の多義性と考察の展開

“給・N”、「N・ノ」の対応例の中にはこのほか、3.1 であつかったケースと同様に“給・N+V+O”表現の多義性の問題が関わっているケースも存在し、例えば

(70) 铅笔给你弄丢了。

は以下のように、二つの異なるコトガラを表わすことが可能である。

(71) 对不起，铅笔给你弄丢了。

(《现代汉语八百词》“给”の項)

(71)’ すみません。君ノ鉛筆をなくしてしまいました。(『中国語文法用例辞典』“给”の項)

(72) 你看，铅笔给你弄丢了吧？

(《现代汉语八百词》“给”の項)

(72) 'ほらご覧、鉛筆を君ニなくサレてしまったじゃないか。

(『中国語文法用例辞典』“給”の項)

また、

(73) 有一年，他师父去世了，他就用自己造的纸给师父画了幅像，挂在墙上。

(《日汉互译教程》:176)

(73) 'ある年、彼の師匠が死んだので、若者は自分の作った紙に師匠ノ肖像を描いてみて／描いテモラッテ、それを壁にかけた。

(同:177)

の場合には、肖像を描いた主体が誰であるかについて二通りの解釈が成り立つ点において多義性がみられる²⁴⁾。

また、使役表現の問題とも関わる

(74) 常常在深夜里，老头子林伯唐到别的姨太太房里去了，秀妮悄悄爬起身，给孩子换尿布、喂奶，亲着美丽的小圆脸蛋，(楊凱榮 2009 : 10、《中日对译语料库》)

(74) '夜ふけになって、老人の林伯唐がほかの妾の部屋へいってしまったあと、秀妮はこっそり起きあがって、赤ん坊ノおしめをかえたり、乳を飲まセたり、その愛らしい小さな丸顔に頬ずりしたりした。(同上)

のようなケースも存在する。(74)においては、“给孩子”が“换尿布”、“喂奶”という二つの動作を表わす成分と組み合わせられ、両者の間には形式上の相違がみられない(“给孩子换尿布”、“给孩子喂奶”でいずれも“給・N+V+O”形式)のに対し、(74)'においては二つの動作がそれぞれ異なる形式によって表わされている(“赤ん坊ノおしめをかえる”、“(赤ん坊ニ)乳を飲まセる”)ため、表現例のあつかいや考察の展開は多面的とならざるを得ず、作業には慎重さが求められよう。

6. おわりに

以上、中国語の“給・N+V”表現に対して「格助詞・N」を用いた日本語動詞表現が対応するいくつかのパターンについて概観し、そのような対応関

係が成立する要因をさぐるための手がかりとなりそうな着眼点や分析方法、予測される結論などを提示した。ある言語対象について考察を行なうにあたり、最初から方法がある程度イメージされる場合もあるであろうが、常にそうとは限らない。一見無駄と思われるようなことでも、試してみることによって、予測していた結果とは直接関係がないものの、他の部分で生かせる有用な情報が得られることもあり、無駄であるか否かを確認する意味も含めて一通り実践していくことが大切である。考察に際してどのような切り口から始めるか、対象となる言語現象のどの部分にスポットをあてるかによって作業の展開は異なってくるであろう。しかしながら、同一テーマについて異なる研究者がアプローチしたとしても、事実を前にして謙虚な姿勢を崩さず、言語現象をありのままに記述していく限り、大きく矛盾することはないはずである。“給”をあつかった先行研究の数は膨大であるものの、日本語との対照作業の余地は十分残されているということができ、今後の新たな研究成果が待たれる。次号では、“給・N+V”表現とそれに対応する日本語表現のうち、本稿ではあつかいきれなかったもの、すなわち、“給・N+V”表現が使役、受益の多義性を有するケースをとり上げ、日本語の使役表現、受益表現との対応関係について考察するための新たな着眼点や分析方法、予測される結論について概観することとする。

注

10) この点については王軼群 2009 : 64 を参照。

11) 奥津 1984 : 74-75 には、「ぼくは花子カラ本をもらった。
／??花子はぼくカラ本をモラッテ。」「I received a package from Mary. (私はメアリーカラ小包をモラッテ。)
／??Mary received a package from me.」のような一人称の起点格を用いた表現が不自然となる例が挙げられている。この点についてはさらに久野 1978 : 162-163 を参照。

12) 楊凱榮 2013 における視点についての記述を以下に挙げておく。①日本語には視点の一貫性や発話当事者の視点ハイプラーキがあり、話し手は常に自分の視点を取らなければならず、他人よりの視点を取ることができない(同:60 ※久野 1978 : 146 からの引用)。②日本語では複数の述語であっても主語を一つだけに絞り、同一の視点から事態を述べる表現方法を選ぶのに対し、中国語ではそれぞれの文に対して主語がたてられ、異なる視点から事態を述べる表現方法を選ぶことが優先される(同:62)。③日本語では能動

文と受身文を用いることによって一つの主語にし、視点の統一が図られるのに対し、中国語ではそれぞれ異なる主語がたてられ、視点の統一はなされない。見方を変えれば、このような視点の違いは立場志向をとる日本語と事実志向をとる中国語の違いでもあるといえる（同：62、63）。

- 13) 楊凱栄 2009：8-9 には、モノの授与をとみなさない受益表現においては、モノが譲渡可能であるか否かにかかわらず、日本語では与格の「ニ」ではなく所有格の「ノ」が用いられる旨の記述がみられる。
- 14) 楊凱栄 2013：58 は中国語話者による誤用例として(51) 'を挙げ、「子供ニ」を用いているのは明らかに中国語の“給”構文の干渉によるものであるとしている。
- 15) (52) は“給”により示される相手が不利益を被るというコトガラを表わすが、“給・N”、「N・ノ」の対応関係が成り立つ点においては同様であるため、一括してあつかうこととする。
- 16) (52) に対応する日本語表現として興水 1985：281 は、「すみません。この本を[あなたニ] よごしてしまいました。」を挙げているが、カッコ内を表出しなければ自然な表現である。
- 17) 辞書は学習者に向けての簡潔明瞭な記述をその目的の一つとしており、そのような用途に沿った分類法が求められるが、研究目的のそれとは必ずしも一致しない。自明のことのようであるが、この点がおろそかとなっていると思われる記述が散見される。
- 18) 本節でとり上げたと同様の対応関係が“把・N+V+O”表現についてもみられ、“小心別把玻璃给人家碰碎了。／人の家ノガラスを割らないよう気をつけなさい。（《現代汉语八百词》、『中国語文法用例辞典』“給”の項）”、“怎么把屋里给我搞得这样乱七八糟的？／私ノ部屋をどうしてこんなにめちゃくちゃにしたの。（同）”、“注意，别把酒杯给人家碰翻了。／気をつけなさい。人ノ盃をひっくりかえしてはいけません。（『中国語虚詞類義語用例辞典』“给替 为”の項）”、“我把手表给你修好了。／私は（あなたノ）腕時計を直しテアゲタよ。（楊凱栄 1994：34）”、“我把手表给你弄坏了。／私は（あなたノ）腕時計を壊してしまった。（同）”などの対応例が存在する。
- 19) このような意味関係を表わす「ノ」の存在については、寺村 1991：238 を参照。
- 20) この点については、「N（トコロ）・ノ」について考察を行った成戸 2009：33-36 を参照。
- 21) 「ノ→ノタメノ」の解釈が可能な対応例としてはさらに“我给你当翻译。／ぼくが君ノ通訳になっテアゲよう。（《現代汉语八百词》、『中国語文法用例辞典』“给”の項）”が、

これに準じると思われる例としては“她常常给我照顾孩子。／彼女はよく子供ノ面倒を見テケレル。（楊凱栄 1994：26）”が挙げられる。ちなみに“*她常常给我照顾。／彼女はよく私ノ面倒を見テケレル。（同 1994：26）”の場合は、中国語表現が非文である。この点については楊凱栄 1994：26 を参照。

- 22) 佐々木 1994：320-321 には、5.1 で述べたような、直接的受け手が（間接的受け手の）身体部分であるケースにみられる“給・N”、「N・ノ」の対応についての指摘がみられるほか、「彼女は夫ノ髪を切った。」「彼女は子供ノ手を洗った。」が“N・的”を用いた“？她剪了爱人的头发。”、“？她洗了孩子的手。”に置き換えられないという事例が紹介されている。
- 23) 同様の例として楊凱栄 2009：8 は「今日は子供ノ弁当を作らないといけなから、早く帰る。」を挙げている。この点についてはさらに同 2013：59 を参照。
- 24) 《日汉互译教程》：177 は、通常は後者の意味に解されやすいとする。

引用文献

- 王軼群 2009. 『空間表現の日中対照研究』, くろしお出版。
- 奥津敬一郎・徐昌華 1982. 『～てもらう』とそれに対応する中国語表現 — “请”を中心に —, 『日本語教育』第 46 号, 日本語教育学会, 92-104 頁。
- 奥津敬一郎 1983. 「授受表現の対照研究 — 日・朝・中・英の比較 — 」, 『日本語学』1983 年 4 月号, 明治書院, 22-30 頁。
- 奥津敬一郎 1984. 「授受動詞文の構造 — 日本語・中国語対照研究の試み — 」, 金田一春彦博士古希記念論文集編集委員会『金田一春彦博士古希記念論文集 第二巻 言語学編』, 三省堂, 65-88 頁。
- 木村英樹 2000. 「“给”が使えない『ために』」, 『中国語』2000 年 10 月号, 内山書店, 32 頁。
- 久野暁 1978. 『談話の文法』, 大修館書店。
- 倉石武四郎・折敷瀬興編『岩波 日中辞典』, 岩波書店(1983)。
- グループ・ジャマシィ編著『日本語文型辞典』, くろしお出版(1998)。
- グループ・ジャマシィ編著《中文版 日本語句型辞典(『日本語文型辞典』中国語訳(簡体字版))》, くろしお出版(2001)。
- 興水優 1985. 『中国語の語法の話 — 中国語文法概論』, 光生館。
- 佐々木勲人 1994. 「中国語の受益文」, 『言語文化論集』第 38 号, 筑波大学現代語・現代文化学系, 315-325 頁。
- 高橋弥守彦・姜林森・金満生・朱春躍編著『中国語虚詞類義

- 語用例辞典』, 白帝社(1995)。
- 寺村秀夫 1991. 『日本語のシンタクスと意味 第Ⅲ巻』, くろしお出版。
- 成戸浩嗣 2009. 『トコロ(空間)表現をめぐる日中対照研究』, 好文出版。
- 楊凱栄 1994. 「受益表現について — “給” と『てあげる、てくれる』との比較を中心に — 」, 『教養研究』第1巻第1号, 九州国際大学教養学会, 21-42 頁。
- 楊凱栄 2009. 「中日受益表現と所有構造の対照研究」, 『日中言語研究と日本語教育』第2号, 好文出版, 1-12 頁。
- 楊凱栄 2013. 「誤用例にみる日中表現の違い — 日中対照研究の立場から — 」, 『日本語学』2013 年 11 月号, 明治書院, 54-64 頁。
- 刘月华・潘文娛・故群著／相原茂監訳『現代中国語文法総覧(上)』, くろしお出版(1988)。
- 呂叔湘主編／牛島徳次監訳『中国語用例辞典《現代汉语八百詞》日本語版』, 東方書店(1992)。
- 呂叔湘主編／牛島徳次・菱沼透監訳『中国語文法用例辞典—《現代漢語八百詞 増訂本》日本語版』, 東方書店(改訂版 2003)。
- 高宁編著／孙莲贵审校《日汉互译教程》, 南开大学出版社, (1995)。
- 刘月华・潘文娛・故群《实用现代汉语语法》, 外语教学与研究出版社(1983)。
- 呂叔湘主編《現代汉语八百詞》, 商务印书馆(1 版 1980)。
- 呂叔湘主編《現代汉语八百詞(増訂本)》, 商务印书馆(1999)。
- 苏琦編著 1982. 《日语口译教程(修订本)》, 商务印书馆(2 版 2000)。
- 穗积晃子著／顾海根・李强译《中国人学日语常见病句分析一百例》, 科学普及出版社(1987)。

(原稿受理年月日 2015 年 8 月 27 日)